

ダクタイル鋳鉄製品内面エポキシ樹脂粉体塗装標準仕様書

平成 9 年 4 月 1 日仕様制定

平成 30 年 4 月 1 日仕様改正

1. 適用範囲

この仕様は、次に掲げる水道用ダクタイル鋳鉄製品の内面に塗装するエポキシ樹脂粉体塗装（以下、「塗装」という。）及び塗装方法について適用する。

- (1) 局仕様 B 2001 ダクタイル鋳鉄仕切弁（呼び径 600 mm～1000mm）（以下、「仕切弁」という。）
- (2) 局仕様 B 2018 水道用ダクタイル鋳鉄製副弁内蔵式バタフライ弁（以下、「内蔵式バタフライ弁」という。）
- (3) 局仕様 B 2007 不断水式簡易仕切弁（以下、「簡易仕切弁」という。）
- (4) 局仕様 B 2010 不断水工法用鋳鉄製バタフライ弁（以下、「不断水工法用バタフライ弁」という。）
- (5) 局仕様 G 2013 鋳鉄製割丁字管及び、G 1024 鋼板製割丁字管（以下、「割丁字管」という。）

「局仕様」とは大阪市水道局規格資材を示す。

2. 適用規格

この仕様で定めるほかは、すべて日本水道協会規格 JWWA G 112（水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装）の規定に準拠する。

3. 塗装方法

3.1 塗装面の前処理及び前加工

- 3.1.1 錆、さび、その他塗装に有害な付着物などはグラインダ、又はサンダなどを用いて除去し、仕上げ面を平滑にし、ショットブラスト等を行うこと。

3.2 塗装

- 3.2.1 塗装は、塗装面の前処理及び前加工終了後速やかに行うこと。
- 3.2.2 硬化後の塗膜の厚さは、0.3 mm 以上とすること。
- 3.2.3 塗装の範囲は次によること。

- (1) 仕切弁は付図 - 1～2 による。またキャップの外面にも粉体塗装を施すこと。
- (2) 内蔵式バタフライ弁は付図 - 1 及び付図 - 3 による。口径が 600 mm 以上にはキャップの外面にも粉体塗装を施すこと。

- (3) 簡易仕切弁は、付図 - 5 による。
- (4) 不断水工法用バタフライ弁は、付図 - 4 による。
- (5) 割丁字管は、付図 - 4 による。

4 . 検 査

4 . 1 塗装検査の検査範囲及び検査箇所

塗装検査の検査範囲及び検査箇所は次によること。

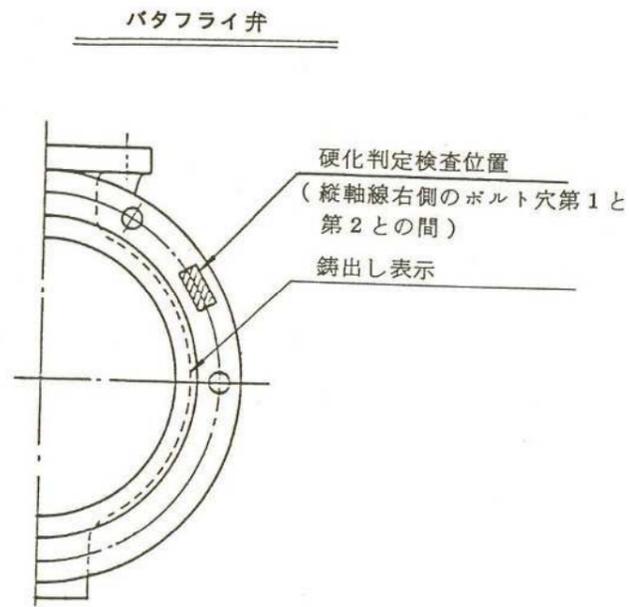
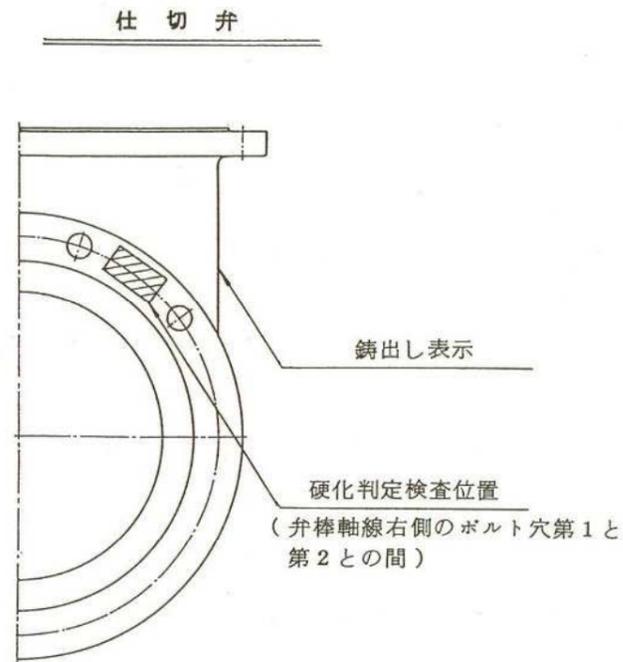
- (1) 仕切弁、内蔵式バタフライ弁は付図 - 1 ~ 3 による。
 { 注 } 仕切弁の弁体耳部及び弁箱ガイド部の検査は、塗装硬化後弁箱に弁体を挿入した場合、弁体が正常に挿入できなければならない。
- (2) 簡易仕切弁は付図 - 5 による。
- (3) 不断水工法用バタフライ弁は付図 - 4 による。
- (4) 割丁字管は付図 - 4 による。

4 . 2 硬化判定の検査範囲

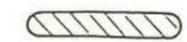
硬化判定の検査範囲は、次のとおり定められた位置で行うこと。

- (1) 仕切弁、内蔵式バタフライ弁は付図 - 1 による。また、簡易仕切弁、不断水工法用バタフライ弁もこれに準ずること。

塗装の硬化判定検査の位置



付図2～3の凡例

-  塗装範囲
-  塗装検査範囲
-  鋭角部加工箇所
-  塗膜厚測定箇所
-  塗膜厚測定箇所
(図示部の裏面)
-  粉体塗料膜厚
-  補修塗料膜厚

本図は位置を示すものであって設計上の構造を規制するものではない

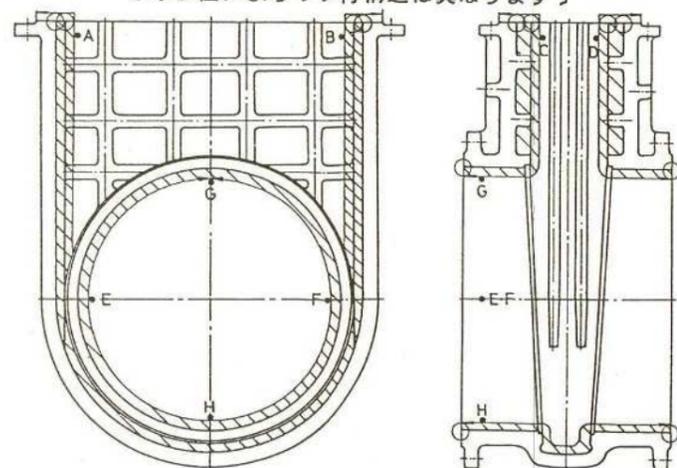
ダクタイル鋳鉄仕切弁・バタフライ弁

付図 1

仕切弁弁箱の塗装及び塗装検査の範囲

(呼び径 600~1000mm)

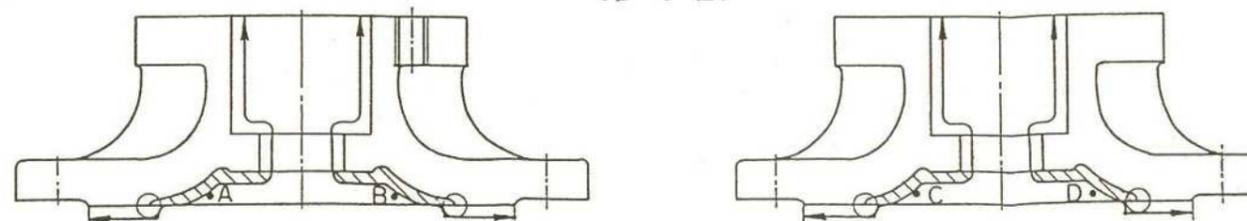
〔呼び径によりリップ付構造は異なります〕



仕切弁パッキン箱の塗装及び塗装検査の範囲

(呼び径 600~1000mm)

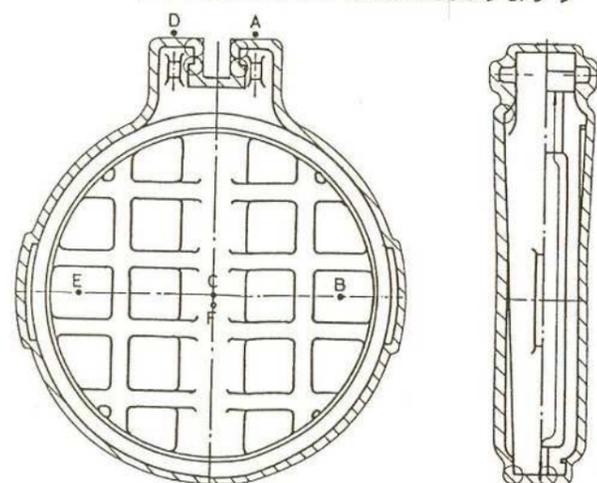
〔参考図〕



仕切弁弁体の塗装及び塗装検査の範囲

(呼び径 600~1000mm)

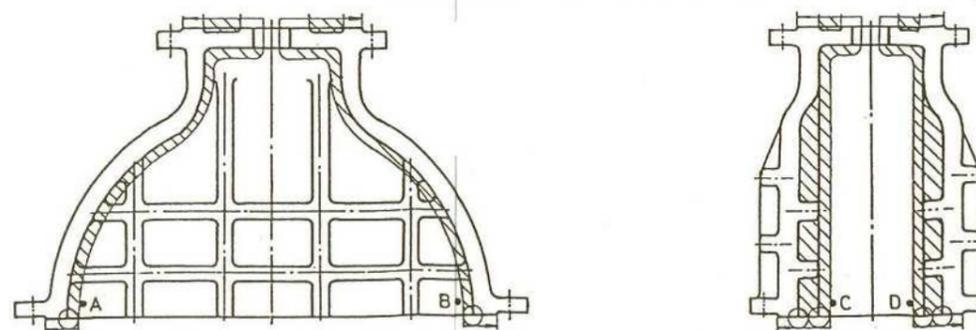
〔呼び径によりリップ付構造は異なります〕



仕切弁ふたの塗装及び塗装検査の範囲

(呼び径 600~1000mm)

〔呼び径によりリップ付構造は異なります〕

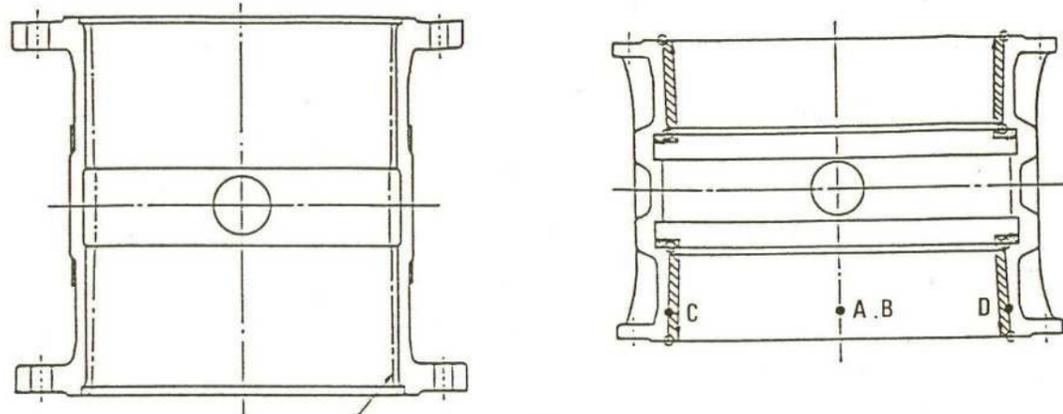


本図は範囲を示すものであって設計上の構造を規制するものではない

ダクタイル鋳鉄仕切弁

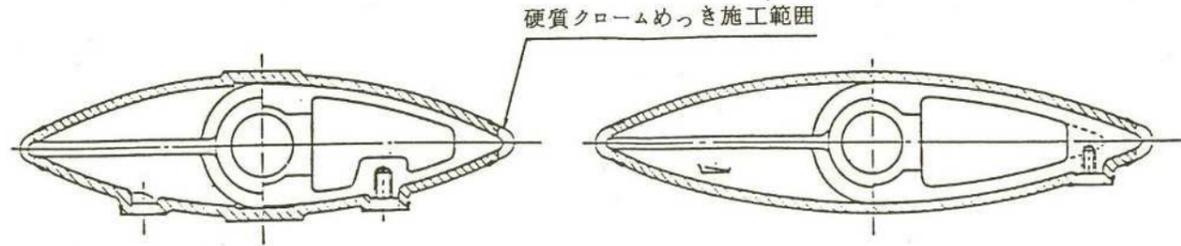
付図 2

バタフライ弁弁箱の塗装及び塗装検査の範囲



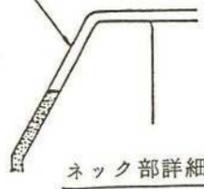
ゴムライニング施工に付
粉体塗装は不用

バタフライ弁弁体の塗装及び塗装検査の範囲

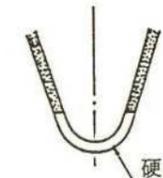


硬質クロームめっき施工範囲

硬質クロームめっき施工範囲

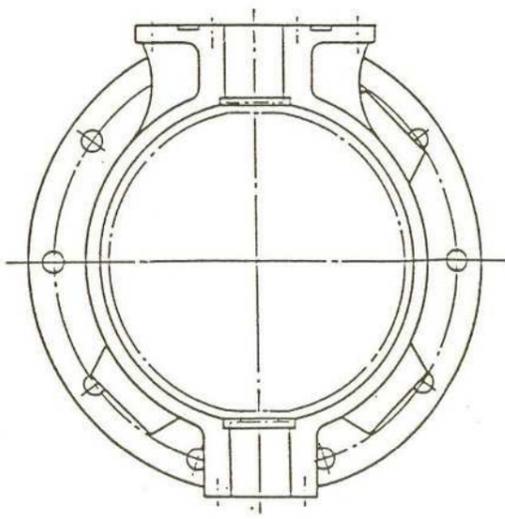


ネック部詳細

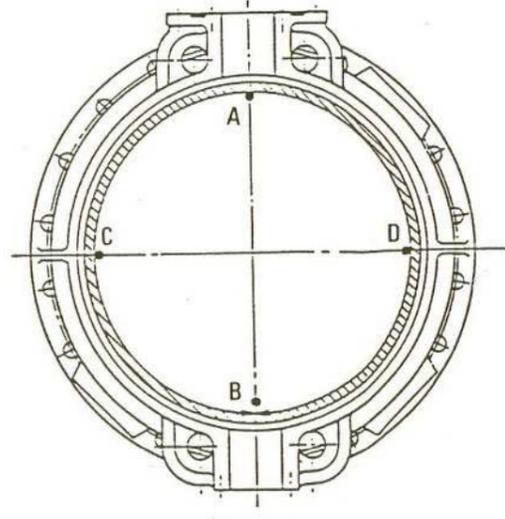


硬質クロームめっき施工範囲

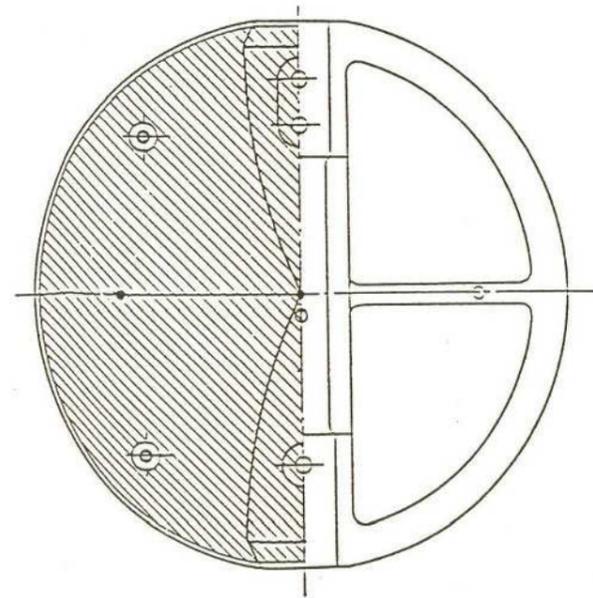
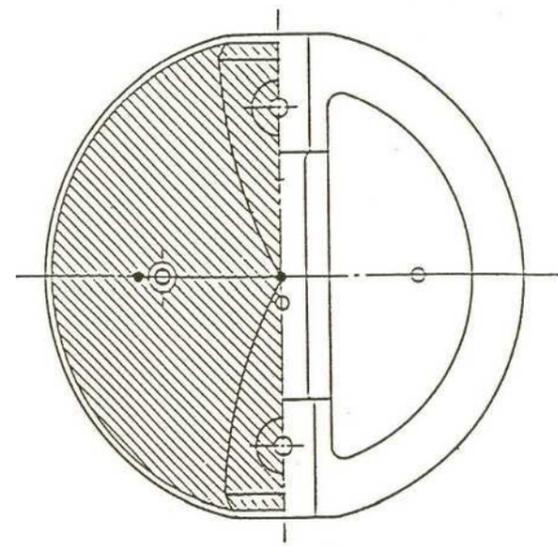
弁座部詳細



ゴム弁座ライニング型



ゴム弁座取付型



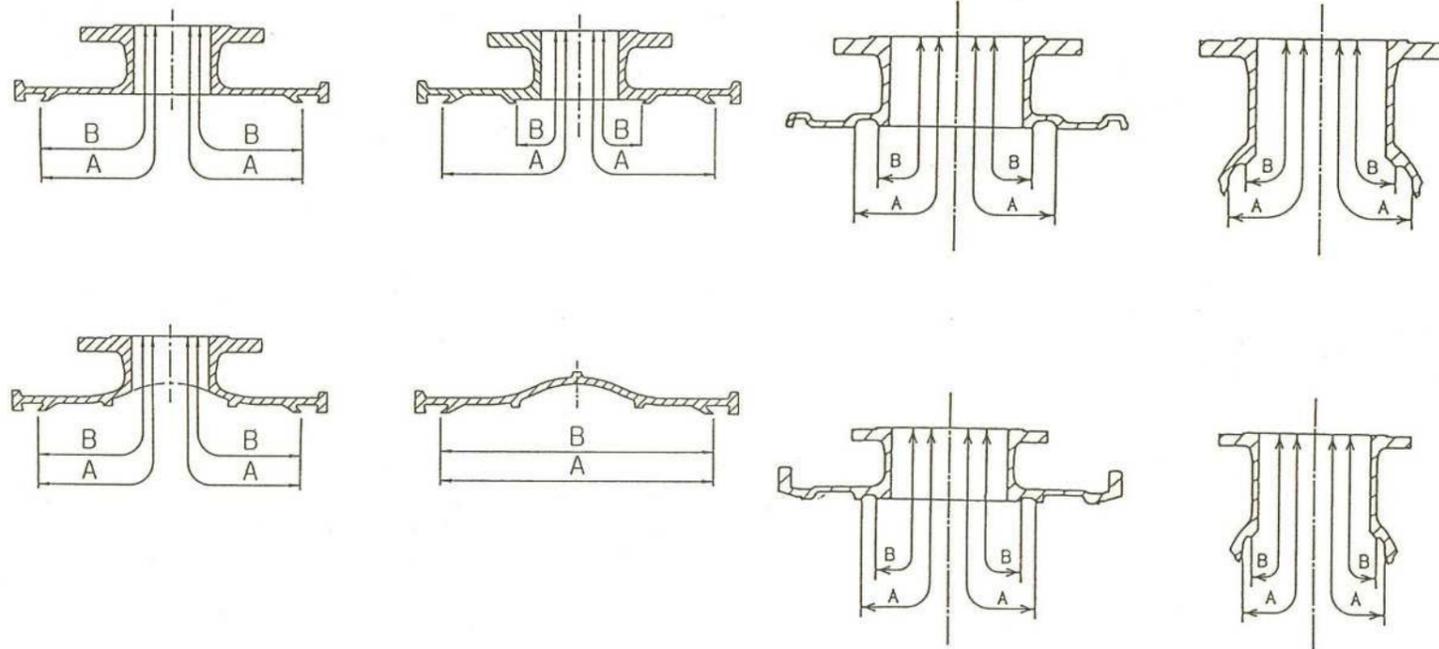
本図は範囲を示すものであって設計上の構造を規制するものではない

バタフライ弁

付図 3

鑄鉄製割T字管

塗装及び塗膜検査の範囲



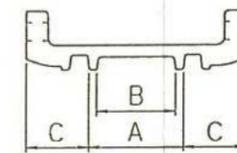
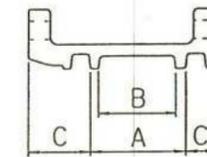
- (1) 塗装の範囲は、Aの部分とする。
- (2) 塗膜の検査の範囲は、Bの部分とする。

不断水工法用バタフライ弁

塗装及び塗膜検査の範囲 弁本体についてはバタフライ弁に準ずる。

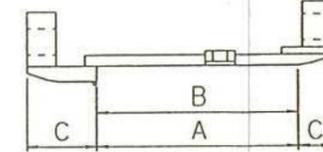
鑄鉄製

特殊割継輪

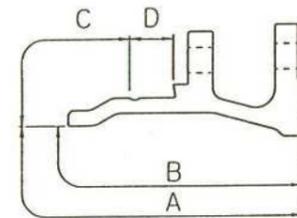
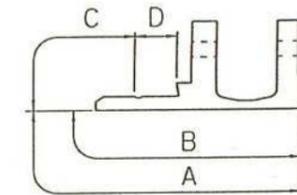
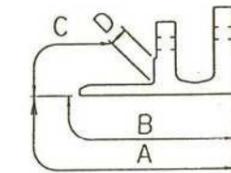


鋼板製

特殊割継輪



特殊短管



- (1) 塗装の範囲は、Aの部分とする。
- (2) 塗装の検査の範囲は、Bの部分とする。
- (3) 補修塗料の塗装範囲は、Cの部分とする。
- (4) 無塗装範囲は、Dの部分とする。

鑄鉄製割T字管

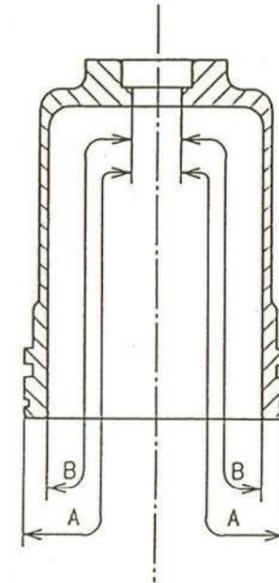
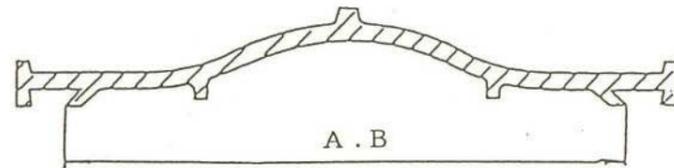
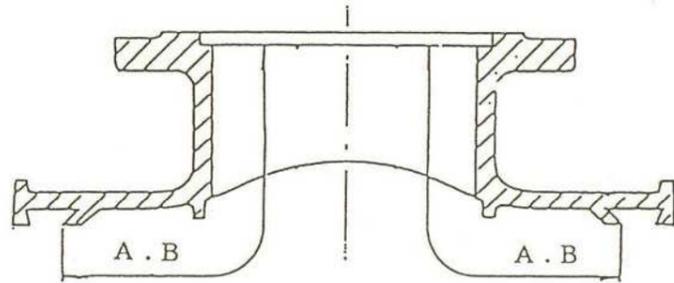
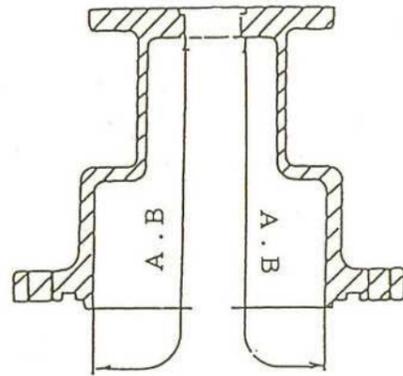
不断水工法用バタフライ弁

付図 4

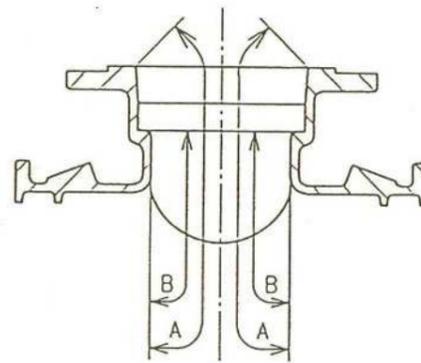
不断水式簡易仕切弁

塗装及び塗膜の検査範囲

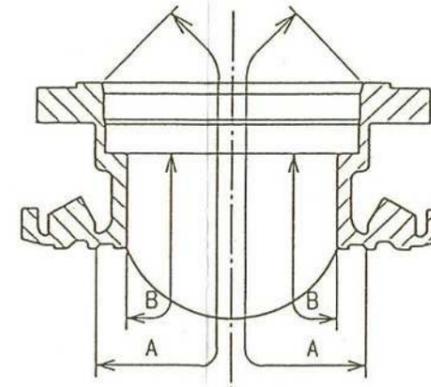
弁ふた



弁器



呼び径 75~150



呼び径 200~500

- (1) 塗装の範囲は、Aの部分とする。
- (2) 塗装の検査の範囲は、Bの部分とする。

不断水式簡易仕切弁

付図 5